

『PCA hyper 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.39プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH251125

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

◇ 公益法人会計の新会計基準（令和7年施行）対応

- 法人区分に「公益法人（令和7年施行）」を追加しました。既存の「公益法人」は「公益法人（平成20年施行）」となります。
- 「令和7年施行基準へのコンバート」処理で、「公益法人（平成20年施行）」から「公益法人（令和7年施行）」へ領域をコンバートすることができます。
- 固定資産が公益法人領域で、公益法人会計と会計連動する場合は、同じ会計基準の領域のみ連動対象となります。

公益法人（令和7年施行）領域では、以下の内容に対応しました。

- 固定資産科目の「資産区分」から「基本財産」「特定資産」を削除
- 固定資産科目に「財産区分」を追加し、「基本財産」「特定資産」を管理
- 「一般正味財産」「指定正味財産」を「一般純資産」「指定純資産」に変更
- 公益法人会計と連動する場合、費用科目を「一般純資産」「指定純資産」を主科目で区別できるように対応（減価償却、減損損失、除却・売却）
- 補助金等の月次償却の配賦額を計算するように修正
- 補助金等の除却・売却に関する金額を追加

互換性に関する変更点

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「7.67」に更新しました。

下記のデータ構造を拡張しました。

固定資産科目
資産(国庫補助金)
会計連動設定
グループ企業共通マスターデータ

《APIの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

会社基本情報（バージョン「105」）
固定資産科目（バージョン「2」）
資産（バージョン「112」）
会計連動設定（バージョン「5」）

《汎用データの変更について》

以下のデータを追加しました。

固定資産科目（公益法人（令和7年施行））

以下のバージョンを更新しました。

一般資産(補助金等)（バージョン「2」）
リース資産(補助金等)（バージョン「2」）